

Rotary Leadership Institute (RLI) Part II

プログラム概要

分科会（セッション） セッションの課題と概要

DL・担当者

1. 効果的な会合の持ち方とリーダーシップ (Club Management - How to run Meetings)

＊目的： クラブに於ける各種会合、例会の目的とその重要性について。

会員の参加意識高揚とクラブの全体の活性化について。

2. 職業奉仕、倫理観の高揚と実践 (Vocational Service and Practical Ethics)

＊目的： 職業奉仕とは何か、ロータリーの基本理念と職業奉仕の実践。

「決議 23-34」、クラブと個人の職業奉仕について。

3. 会員組織と新会員勧誘（その2・応用編）(Membership Development and Recruitment)

＊目的： 新会員勧誘の具体的手法、新会員セミナー、新会員によるクラブの活性化、クラブ毎の課題と効果的な会員増強を考える。

（注）Part I のプログラムと重複しない内容とする。

4. ロータリー財団（その2・応用編）(Rotary Foundation Part 2)

＊目的： ロータリー財団の人道的、教育的、ポリオなどのプログラム、寄付金（年次寄付、恒久基金、使途指定）とシェア・システム。

（注）Part I のプログラムと重複しない内容とする。

5. 米山記念奨学事業（その2・応用編）(Special Program in Japan- Part 2)

＊目的： 寄付金と税制上の優遇措置プログラム、奨学生数の推移、学友会、在日留学生の現状と今後の政策について。

（注）Part I のプログラムと重複しない内容とする。

6. クラブ運営の分析と評価 (Analysis of the Rotary Club)

＊目的： 自分の所属しているクラブの運営システム、奉仕プロジェクト、活動状況などについて、会員としての理解度のチェックをします。

（注）「クラブ評価表」は、合計 100 項を超える質問から構成されており、セミナー参加者は、前以ってそれらを回答し、提出する事とします。セミナー会場では、その内容と分析結果を討議します。

RLI Part II セッション1 「効果的な会合の持ち方とリーダーシップ」

(クラブの各委員会活動とその活性化の重要性)

「本セッションの目的」

国際ロータリーは、100年の節目を迎え、いくつかの課題を抱えています。中でも、会員減少に歯止めがかからない状況はロータリーの存続基盤をゆさぶる大きな課題です。会員減少の背景には「クラブ活性化」の問題があり、これは同時に、クラブ各委員会活動の問題でもあると考えます。RIはDLPに続きCLPの導入を推奨し、より簡素化された委員会構成で、効果的なクラブ造りを提唱していますが、このセッションでは、小規模でも出来る、「質」と「量」共に優れた、効果的な奉仕活動を可能にする委員会構成とその活動に関して討議することを目的とします。

「主な質問事項」

1. まず、クラブの組織構成です。クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の目的は、「効果的なクラブ管理の枠組みを提供する事により、ロータリークラブの強化を図ること」としています。
 - (1)効果的なクラブとは、どのようなクラブを言うのでしょうか？
 - (2)またその要素とは何を言うのでしょうか？
2. クラブの会員数に対し委員会構成は、活動に無理がない形が要求されると考えます。
 - (1)あなたのクラブでは、委員会構成が適切（クラブに合った）形になっていますか？
 - (2)それぞれの会員が積極的に委員会活動に参加していますか？
3.
 - (1)クラブの委員会を活性化させるために、会員数に合わせ、従来の委員会構成に見直しがなされていますか？
 - (2)委員会は活動に応じて柔軟に変えられる形式になっていますか？
 - (3)プロジェクトが決まると、委員会の中で人員編成が再編出来る仕組みなっていますか？
4. 効果的なクラブ造りに「長期的なビジョン」が必要と考えます。
 - (1)クラブには、みんなが理解している「長期ビジョン」がありますか？
 - (2)毎年踏襲するプログラムで、マンネリ化していませんか？
 - (3)マンネリ化を防ぎ、委員会を活性化するにはどうすれば良いと思いますか？
5. 効果的な奉仕活動のために、
 - (1)地域内の他の団体などとの共同プロジェクトは実施されていますか？
 - (2)奉仕活動に、他の団体との相互補完は可能でしょうか？
6. RIの存在も、地区組織も基本的には「クラブ支援」です。
 - (1)しかし、委員会の簡素化で、地区の組織との整合性に問題が生じませんか？
 - (2)その場合、どのような対応をすればよいと考えますか？

RLI Part II セッション2 「職業奉仕、倫理観の高揚と実践」

(職業奉仕の理念と実践)

「本セッションの目的」

ロータリーには「綱領」があり、その第2項に、事業および専門業務の道德的水準を高めること、あらゆる有用な業務は尊重されるべきという認識を深める事、そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること、とあります。そして、「四大奉仕部門」にも、ロータリークラブの活動の哲学的および実践的な基準として、同様なことが述べられています。「ロータリーに於ける職業奉仕」とは、あらゆる職業に携る中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法と理解致します。ここでは、職業奉仕とは、「何を、どう実践するのか？」討議を通して学ぶことを目的とします。

「主な質問事項」

1. まず、冒頭に伺います。一般的に「職業奉仕はわかりにくい」と言われます。何故でしょうか？
2. 職業奉仕に関連する声明の中に、「あらゆる職業において最も高度の道德的水準を守り、推進すること」とあります。この言葉が本当に意味するものは何でしょうか？
3. 同様に、「あらゆる職業の社会に対する価値を認めること」とあります。この言葉の意味は何を言っているのでしょうか？
4. また、「自己の職業上の手腕（プロフェッション）を社会の問題やニーズに役立てること」とあります。実際にどのようなケースを言うのでしょうか？ 実際にあなたは実践していますか？
5. さて、奉仕活動の実践に、最も重要な事は何でしょうか？ 絶えず心がけなければならない事とは何でしょうか？
6. 職業奉仕とは個人の奉仕活動を進めることでしょうか？ クラブ単位で行う職業奉仕がありますか？ 職業奉仕はクラブの奉仕活動とは無関係ですか？

RLI Part II セッション3 「会員組織と新会員勧誘」

「本セッションの目的」

効果的なクラブの創造は、従来からの会員を維持すると同時に、新会員の補充、増強により、楽しいクラブ造りに励む事がベースと考えます。日本における会員減少が極めて危機的な状況にあることを認識し、クラブを挙げて、全会員がそれぞれの立場で会員増強に精力的に取り組む事が肝心でしょう。このセッションでは、新会員勧誘の具体的手法、新会員セミナー、新会員によるクラブの活性化、それぞれのクラブが抱える課題と効果的な会員増強について討議をします。

「主な質問事項」

1. Part I では、前期末までの会員数の減少傾向に関して報告、討議がなされたと理解しています。先ず、出席者から今期、現在までの会員増強の経過について伺います。今期、増強の成果は如何でしたか？
2. この会員減少傾向は、単に日本の問題だけではありません。RI 会長が示された会員増強目標（配布資料）について意見はありますか？ これはクラブ全体の課題と理解していますが、基本的にどんな取り組みがなされていますか？
3. それぞれ出席の方から、各クラブの増強計画策定の方法とその進行状況について伺います。又、その計画の進行管理はどうされていますか？
4. 会員増強に貢献された方への顕彰はどうしていますか？（2750 地区ではスポンサーピンが贈呈されています。）
5. 女性会員の受け入れ状況について伺います。女性会員ゼロのところはありますか？有るとすれば、その背景は何でしょうか？（既に、一般では、女性、男性の区別をする事がおかしいとの意見もあります。）
6. 地区内には 100 名を越える大きなクラブ、30 名に満たない小規模クラブがあります。基本的には、そのクラブが意図する「望ましいクラブ会員数」でしょう。クラブに、中期、長期的な会員増強計画がありますか？ そうした計画が、クラブ全体で話し合いされているのでしょうか？

RLI Part II セッション4 「ロータリー財団（応用編）」

（寄付金と補助金）

「本セッションの目的」

ロータリー財団への寄付はどのような寄付があるのかを理解した上で、その貴重な寄付がどのように使われているのかをケーススタディの手法で参加者の皆さんに実際に考えていただきます。寄付金と補助金の両方を理解していただくことにより、ロータリー財団が寄付を大切に考え、また、いかに有効に使うことを第一に考えているかを理解していただきます。

「主な質問事項」

1. ロータリー財団への寄付には、どのようなものがあるかご存知ですか？
→寄付の方法と、それぞれの寄付のシステムを知ることによって、自分たちの寄付がどのように扱われているのかを理解していただきます。

2. 次の設問に答えてください。

設問1. 年次寄付に下記の金額が集まりました。

3 年後にシェア・システムによって地区にDDFとして配分される金額は、いくらでしょうか？

年次寄付 合計金額 583,678 ドル

設問2. DDFとして地区に下記の金額が配分されました。

この金額で、今年度の財団奨学生は何名海外派遣できるでしょうか。

DDFの金額 284,700 ドル

設問3. 私たちのクラブは、国際奉仕のプロジェクトを行うことになりました。

クラブからの拠出金も下記の金額が準備でき、地区のWCSからの補助金も下記の金額をいただけることになり、MGを申請したいと思いますが、WFから補助金はいくら支給されるでしょうか。

クラブ拠出金 6,000 ドル

地区WCSの補助金 4,000 ドル

→3つの設問を通じて、シェア・システム、MG（マッチンググラント）を理解していただきます。その寄付がどのように分配され、どのような形でプロジェクトに有効利用されているかを具体的な事例で考える場をもちます。

「セッションのまとめ」

ロータリー財団では、「寄付をする」とことと「有効に使う」とことは、車の両輪であることを理解していただきます。DSGやMGをどのように使えば良いかを理解することによって、今後、自分のクラブでも実際のプロジェクトの立案、実行に役立てることのできる力をつけていただきます。

RLI Part II セッション5 「米山記念奨学事業」

(米山記念奨学事業の現状と事業の発展)

「本セッションの目的」

Part I でロータリー米山記念奨学事業の基本について考え、参加者の皆さまからは、本事業について肯定的に受け止めて頂きました。米山記念奨学事業は、日本の34地区による「多地区合同奉仕活動」として全国のロータリークラブ、地区、米山記念奨学会が活動を支えています。クラブ、地区によって、その取り組み方に大きな違いがあります。各レベルにおいて将来のリーダーとして、現状において事業が抱える問題点を考え、更にどのように事業を発展させ、推進するかを考察することがPart IIの本セッションの目的であり、事業の将来を考える応用編です。

「主な質問事項」

1. 米山記念奨学生の選考は、地区選考委員会が行い、米山記念奨学会の選考委員会で最終決定がなされます。当地区では、1999 学年度から、指定大学による大学推薦制度を採用し、3 年間の試行期間を経て、全地区で採用することになりました。その結果コミュニケーション能力とともに、「優秀性」が評価されるようになりました。国籍の偏りも含めて選考の問題点について考えてください。
2. 奨学金の原資は100%ロータリアンの寄付で賄われています。特別寄付金には税制上の優遇措置があります。また、個人寄付額と地区寄付総額によって、地区の採用学生数が決められます。また、表彰制度もあり、これ等を理解した上で、有効な寄付増進の方策について考えをお述べください。
3. 当地区では、この数年米山記念奨学生と学友に対する、年2度の懇親会や、学友定例会を毎月行い、ロータリアンを含めた交流と情報交換行っており、奨学生・学友のロータリーへの永続的な関わりを維持し、将来のロータリアンとして、日本語を共通語とする国際的なネットワーク構築を志向しています。本事業は学資や生活費の支援だけではなく、ロータリーの奉仕理念を奨学生・学友に継承してもらうことが必要と思われます。その方策について考えてください。
4. 本事業は特定公益増進法人として文科省の認可を受け、法的に制約されている部分もありますが、そのような制約にかかわることなく、自由な発想で本事業の未来はどうあるべきか、どうなることが望ましいか、お考えください。

RLI Part II セッション6 「クラブ運営の分析と評価」

(Analyzing Your Rotary Club)

「本セッションの目的」

このセッションの目的は、クラブの現状批判ではありません。現在、自分が所属しているクラブについて、種々の角度から先ず分析、客観的に評価し、その結果から、更に向上させる為には如何にすべきかを学ぶものです。評価対象は、大まかに、下記の5項目に関して、受講者の理解を基本として三者択一で選択します。

1. クラブ全体について
2. 会員とその活動状況について
3. ロータリー財団について
4. 奉仕プロジェクトについて
5. ロータリーの広報活動について

※ 合計 100 項を超える質問表が用意されています。受講者は討議に入る前に、これら質問表を完成し、それらを持参した上で、クラスルームに入ります。そして、自己の評価結果を踏まえて、クラブの現状と自分の理解度を評価、査定、向上案を討議します。

「主な質問事項」

1. リーダーは、項目ごとに、どの位の出席者が自信を持って回答できたかを質問します。「クラブ全体」を例に取りますと理事会の開催頻度、会員名簿の有無、収支報告から会報、クラブ協議会の開催状況、会員全体の出席状況にまで及びます。これらの評価次第で、クラブの活性化が測れますが、同時に、回答者自身の理解度、クラブ活動への参加状況も自己評価出来ます。
2. 同様に「ロータリー財団」についても、クラブ全体での財団活動、寄付金の状況、3年後に寄付金がクラブに還元される事や、マッチング・グラントなど、知識全般について、自分の所属するクラブ全体、自分自身の参加状況や関連知識をチェック出来ます。
3. こうした自己のクラブ評価、ロータリアンとしての自己評価を通して、何が欠けているのか、どうしたら、そうした欠けている部分を補う事が出来るかを認識していただく事、更に、それら欠如している部分をどうカバーするかを討議します。
4. 討議は、クラブに何がかけているか？の指摘ではありません。受講者が、クラブをどの位理解しており、自分が会員として、如何に参加、活動しなければならないかを認識、対応策まで考える機会を体得することです。どのサブジェクトに照準を合わせ、討議するかはリーダーの裁量でよいと考えます。

ロータリークラブ 評価表

クラブについて 1~41まで

評価：はいーA いいえーB わからないーC

1. 私の所属するクラブはクラブリーダーシッププランを導入している _____
2. 各会員の閲覧が可能な細則がある _____
3. クラブ理事会のメンバーは定期的に会議を開いている _____
4. クラブは短期・長期の活動計画を行っている _____
5. クラブはメールアドレスを持っている、又は最新の情報を載せたウェブサイト持っている _____
6. 役員・会員・委員会・委員長の名簿がある _____
7. 欠席の続いている会員や病気の会員に積極的に連絡を取っている _____
8. 過去3年の間にRI会長賞を受賞した _____
9. 会員が承認した年間予算がある _____
10. 最低年1回は収入支出に関する報告書を受け取っている _____

評価：良い／はいーA 中位ーB 悪い／いいえ／わからないーC

11. クラブ例会の開催場所や開催地域は _____
12. 例会中に出される食事は _____
13. 通常の例会のスピーカーやプログラムの質は _____
14. 例会は定刻に始まり、定刻に終わり、例会プログラムの使用は _____
15. 理事会はクラブに対し理事会報告をしている _____
16. 会員に対する重要なロータリーの情報伝達は _____
17. 会員のクラブ負担金の支払いは _____
18. 地区や国際ロータリーの負担金払いは _____
19. クラブ会報の情報とその内容は _____
20. 定期的な会合や、理事会あるいは会員への報告に関するクラブ委員会システムの運用は _____
21. 地区協議会、地区大会、国際大会や特別な会議についてのクラブのプロモーションは _____
22. RIテーマやRI会長のメッセージと強調事項のクラブでの活用は _____

23. 来訪ロータリアンに対する挨拶やもてなしは _____
24. 例会時のゲスト紹介は _____
25. クラブ協議会での情報と話題の質は _____
26. 地区ガバナーの公式訪問時のクラブの待遇と歓迎は _____
27. クラブ内でのロータリー精神や友愛の程度は _____
28. 会員は毎週異なるテーブルに座る _____
29. 会員の特別なイベントや誕生日に関するクラブの配慮は _____

当てはまるものに、○をしてください:

30. 私たちのクラブはスピーカー（卓話者）を**毎週(A)、毎月(B)、時々(C)**、迎えている
31. クラブ会報は**毎週(A)、毎月(B)、時々(C)**、発行している
32. クラブ協議会を**毎月(A)、年に4回(B)、時々(C)**、開催している
33. 国際ロータリーの“出席”に関する規定を**常に(A)、毎月(B)、時々(C)**、守り、実施している
34. 会員は欠席に対するメイクアップを**常に(A)、たいてい(B)、時折(C)**、実施している
35. クラブは出席率100%の会員に対する表彰を**定期的に(A)、時折(B)、たまに(C)**、行っている
36. 私のクラブは地区ガバナーの候補者を**過去1～10年の間に(A)、11～15年の間に(B)、知らない(C)**、輩出している
37. 私のクラブはガバナー補佐を**過去1～10年の間に(A)、一度もなし(B)、知らない(C)**、輩出している
38. 前回の国際大会に私のクラブから次の会員が出席した。5名以上(A)、数名(B)、知らない(C)
39. 前回の地区大会に私のクラブから次の会員が出席した。10名以上(A)、数名(B)、0名(C)
40. 直近の地区協議会に私のクラブから次の会員が出席した。5名以上(A)、数名(B)、知らない(C)
41. 会長エレクトはPETSに**いつも(A)、時々(B)、知らない(C)**、出席している

会員について 1～24まで

当てはまるものに、○をしてください:

1. 例会の月平均出席率は**80%以上(A)、60%以上(B)、知らない(C)**
2. 会員の**平均年齢**は**51-60歳(A)、61-70歳(B)、71歳以上(C)**
3. 昨年の会員数は**増加した(A)、同じ(B)、減少した(C)**

4. 今年の会員数の見込みは—増加する(A)、同じ(B)、減少する(C)
5. 新クラブ設立の支援を過去に(A)、知る限りない(B)、知らない(C)、行った
6. 新会員がクラブで活動し易いようにいつも(A)、時々(B)、一度もなし(C)、支援している
7. クラブは会員候補者を発掘するためにしばしば(A)、たまに(B)、一度もなし(C)、茶話会や飲み会などの特別な親睦会を行っている

評価：はい— (A) いいえ— (B) わからない— (C)

8. クラブに対して定期的に報告を行う会員増強委員長がいる _____
9. クラブは会員の職業分類制度を利用している _____
10. クラブは達成可能な無理のない会員増強の目標を毎年定めている _____
11. クラブは“指導”プログラムを利用している(新会員に対して教育役をつけている) _____
12. 新会員用の入門パッケージがある _____
13. 新会員が歓迎されたと感じるクラブ特有のプログラム(歓迎会など)がある _____
14. 新会員のためのオリエンテーション会合を行う _____
15. クラブは退会する会員に対し“インタビュー”を行って理由を聞いている _____
16. クラブは通常新会員に対し友人などをロータリークラブに紹介してもらうよう依頼している _____
17. 会員でない人をクラブに招き、ロータリーについての情報を提供している _____

評価：良い／はい—A 中位—B 悪い／いいえ／わからない—C

18. 会員増強に対するクラブのプロモーションは _____
19. クラブの職業分類リストの活用は _____
20. 新会員のためのオリエンテーション会議の内容は _____
21. 新会員入会時の入会式の内容は _____
22. クラブは会員維持のための特別なプログラムを持っている _____
- ※はいと答えた場合、その内容は (_____)
23. 地区会員増強セミナーへのクラブの出席は _____
24. 総合的にクラブの会員増強と退会防止への取り組みは _____

ロータリー財団について 1～15まで

評価：はいーA いいえーB わからないーC

1. クラブは財団の委員長を有し、会員に定期的に財団活動の報告を行っている _____
2. 毎年、財団への寄付金の目標を設定し達成している _____
3. 各会員にポール・ハリス・フェローになることを奨励している _____
4. 新しくポール・ハリス・フェローになった人のために特別のプレゼンテーション(表彰)を行っている _____
5. ポール・ハリス・フェロー全員の名簿を配布している _____

当てはまるものに、○をしてください：

6. ほとんどすべての(A)、何人かの(B)、ほとんどない(C)、の会員は、R財団に送る寄付金が3年後に地区に還元されることを知っている
7. ロータリー財団の情報は毎月(A)、3ヶ月に1回程度(B)、一度もなし(C)、報告されている
8. すべての(A)、多くの(B)、ほとんどない(C)、の会員はポール・ハリス・フェローのことを知っており、どのようにしてその一員になるのかを知っている
9. 私のクラブは、過去に(A)、知る限りない(B)、知らない(C)、の間にGSEチーム、国際親善奨学生、大学教員又は世界平和奨学生の支援を行った
10. 私のクラブはマッチンググラント(同額補助金)の申請を過去に(A)、知る限りない(B)、知らない(C)、行った
11. 私のクラブは地区補助金の申請を過去に(A)、知る限りない(B)、知らない(C)、行った
12. クラブ会員のほとんどすべての(A)、何人かの(B)、ほとんどない(C)、は、ポール・ハリス・フェローである
13. クラブ会員のほとんどすべての(A)、何人かの(B)、ほとんどない(C)、は、R財団のベネファクターである
14. クラブ会員の多くの(A)、何人かの(B)、ほとんどない(C)、は、R財団の大口寄付者である
15. クラブの現PHFの多くの(A)、何人かの(B)、ほとんどない(C)、は、引き続いてR財団に寄付を行っている

奉仕プロジェクト 1～13まで

評価：良いーA 中位ーB 悪い／わからないーC

1. 職業奉仕を推進するクラブの姿勢は _____
2. クラブと地域における4つのテスト（4-Way Test）の推進は _____
3. クラブと地域において、高い倫理基準、専門職の尊厳または奉仕活動の実践を進めるクラブの努力は _____
4. 毎年新しい地域奉仕活動を行うためのクラブの努力は _____
5. 毎年新しい国際奉仕活動を行うためのクラブの努力は _____
6. 地域や国際的な奉仕活動に対するクラブの活動について _____
7. 下記の中でクラブが行ってきたプロジェクトについて、**過去3年**に行ったものを選択してください。

- (a) ポリオ根絶と地域の免疫に関する支援
- (b) 環境保護
- (c) 識字に関する支援
- (d) 水質保全・改善に関する支援
- (e) 飢餓問題に関する支援
- (f) 障害者・高齢者サポートに関する支援
- (g) 貧困地域に関する支援
- (h) 職業訓練に関する支援
- (i) 青少年指導育成に関する支援
- (j) ロータアクト・インターアクトの設立と支援
- (k) 一般的なプロジェクトで他の奉仕団体との共同活動
- (l) 一般的なプロジェクトで他のRCとの共同活動
- (m) 学力向上に関する支援
- (n) 交通安全や高速道路の安全に関する支援
- (o) 動物保護に関する支援
- (p) 災害援助プロジェクト
- (q) その他

評価：はいーA いいえーB わからないーC

8. 財団の奉仕プログラムを支援するため、クラブは種々の募金活動を行っている _____
9. 財団の奉仕プログラムへの募金は主に会員の寄付に頼っている _____
10. クラブは過去に国際奉仕プロジェクトに参加している _____
11. クラブは青少年交換プログラムに参加している _____
12. クラブは青少年交換の学生を例会に招いている _____
13. クラブは過去に、RYLAに学生を派遣した _____

ロータリーの広報 1～9まで

1. クラブは地元メディアに対し、いつも(A)、たまに(B)、一度もなし(C)、ロータリー活動の記事や写真などを提供している
2. クラブはいつも(A)、たまに(B)、一度もなし(C)、ロータリー活動を広報するため公共のメディアを利用している
3. 会員はいつも(A)、時々(B)、一度もなし(C)、ロータリーピン（バッジ）を着用している

評価：はいーA いいえーB わからないーC

4. クラブは例会場に“ロータリー例会場はここです”という看板を置いている _____
5. クラブは過去に看板・新聞・地域パンフレットなどを利用し、広報活動を行っている _____
6. 昨年、会員は地元のラジオやテレビの取材を受けたことがある _____
7. クラブにはメディアの職業分類をもつ会員がいる _____
8. クラブは、広報用のクラブの紹介とその活動を記載した小冊子がある _____
9. 地域奉仕プロジェクトが完了した際、ロータリーロゴとクラブ名がわかるものを設置している _____

ボーナス質問 1～11まで（評価：はいーA いいえーB、7～11は選択）

1. 私は毎月ロータリーの友を購読している _____
2. 私はガバナー月信を受け取り、それを読んでいる _____
3. 私は過去に新会員を紹介した _____

4. 私はR財団のSHAERシステムを理解している _____
5. 私はポール・ハリス・フェローであり、継続して寄付している _____
6. 私は過去に奉仕活動に参加するか、または奉仕活動への寄付を行った _____
7. 私はクラブ又は地区又はRIウェブサイト、毎月(A)、時に(B)、一度もない(C)、 見ている
8. 私は例会欠席時のメイクアップを毎回(A)、時々(B)、一度もなし(C)、行っている
9. 私は地区委員を過去5年間に(A)、それ以前に(B)、一度もなし(C)、務めた
10. 地区大会・国際大会に過去5年以内(A)、過去に(B)、一度もなし(C)、出席した
11. R財団に過去2~3年(A)、4年以上前(B)、一度もなし(C)、寄付を行った

これはあなたのクラブの非科学的な分析で、重要なものではありません。結果はあなた又はクラブが欠けているものを導き出したものです。クラブ又はロータリアンの活動にマイナスの影響を与えるべきものではありません。

提出者氏名 _____

所属クラブ _____ ロータリークラブ